

## 上級フィールド調査計画・実践論 (2単位)

担当者氏名 門間敏幸・藤本彰三・泉田洋一・八木宏典・鈴木充夫・土田志郎・畑中勝守

### ◆学習・教育目標

上級フィールド調査計画・実践論は、主としてバイオビジネスの経営者を対象として経営調査を行うための調査票の作成、インタビュー法、そして調査結果の取りまとめを、実際の営農現場で実践して修得する目的で実施する。大学院生は自らの研究対象を設定して、調査目的、調査課題、調査項目を設定して事前に調査票を作成する。次に調査実践を行う地域に出向き、実際にバイオビジネスの経営者を対象にインタビュー調査を各人が実施する。調査実施後、調査結果を持ちより、正しい経営情報が獲得できたか否か、調査上の問題点を抽出して、問題解決方法を探る。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

バイオビジネス

フィールド調査

調査票の開発

インタビュー

バイオビジネス経営者

経営調査

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンスと調査目的・調査項目の設定 (第1～3週)	・本科目の目的と参加方法をまず説明する。次に調査実践農村、農家の経営実態について説明する。学生は、自らの研究課題にしたがって調査経営のタイプを選定し、調査目的、調査項目を決定して調査票のフレームを完成する。	本授業では、実践的な経営調査手法を実際のフィールドで実践しながら修得することを目指している。そのため、参加学生は、自らの研究目的に従って調査経営のタイプを事前に選択して、調査目的、調査項目を設定しておくこと。
2	調査票の作成とプレテストおよび修正 (第4～5週)	・学生は自らの調査票を完成させ、他の学生をバイオビジネスの経営者と見立ててインタビュー調査のシミュレーションを行い、調査票のチェックと修正を行う。	
3	営農現場でのインタビュー調査の実践 (第6～14週)	・自ら作成した調査票を用いてバイオビジネスの経営者に対するインタビュー調査を実施する。予定では宮城県角田市の専業農家を対象に2泊3日で調査を実施し、毎日、調査結果の発表、反省、補充調査項目の設定を行い、この日程で調査を完了する。	
4	調査実践の総括 (第15週)	・大学にて調査実践の総括を行う。	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

特定の教材は使用せず、必要に応じて資料を配付する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

調査方法に関する著書、資料を読んでおくこと。

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

フィールド調査の実践に基づいて評価する。

### ◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなくて、自ら調査・計画理論・方法を創造するという態度で授業に参加して欲しい。